

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

《受託開始日》 平成 24 年 2 月 20 日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	AFP レクチン分画
検査コード	7726
JLAC10	5D018-0000-023-024-53
検体量	血清 0.5 mL
容器・保存	A1 A2・冷蔵
実施料(判断料)	190 点(生化)
所要日数	5 ~ 6 日
検査方法	LBA(LBA-EATA)法
基準値	L3 分画 10.0 未満%

保険収載名称：AFP のレクチン反応性による分画比 (AFP-L3%)

保 険 注 釈：同一月内に AFP のレクチン反応性による分画比 (AFP-L3%) を -フェトプロテイン (AFP) 又は PIVKA と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。なお、AFP のレクチン反応性による分画比 (AFP-L3%) は、電気泳動法及び抗体親和性転写法又は LBA 法による。

腫瘍マーカー検査において患者から 1 回に採取した血液を用いて本区分に掲げる検査を 2 項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。

イ 2 項目〔230 点〕    ロ 3 項目〔290 点〕    ハ 4 項目以上〔420 点〕

《 解 説 》

AFP レクチン分画は、レンズマメレクチン (LCA) を用いた親和電気泳動において分離されるバンドを L1、L2、L3 とするとき、非肝癌患者 AFP の大部分が L1 分画に出現するのに対して、肝細胞癌患者では L3 分画の占める比率が増加します。AFP-L3 分画比率の測定は肝細胞癌と肝良性疾患との鑑別診断、肝細胞癌の早期診断、および治療後の予後管理に有用です。

《 備 考 》

コード 7726 に「L3 分画」、コード 7727 に「L1 分画」のデータが入ります。

《 注 意 》

現在受託中の「コード 2605：AFP レクチン分画比 (L<sub>3</sub>%)」は測定試薬販売中止のため今後受託中止を予定しております。